



置かれた場所で咲く

校長 板見 剛
副校長 森 敏樹（作成）

2学期のスタート『正しい判断と行動ができる自分づくり』

【生徒の皆さん】

7月の学校だよりでは、次の2つのことを高めたり守ったりできる生徒を目指していくことを呼びかけました。2学期の始まりに、改めて確認の意味を込めて記します。

○規範意識を高めること。「してはいけないことは、したくても絶対にしない。」

○正しい判断力を身につけること。「周りに流されない。その場のノリや雰囲気判断を誤らない。」

勉強や部活動等で自分の力を発揮し、納得のいく成績を残すことも大事でしょう。ただ、今の長与中生にとってこの2つのことを守ることも大事にしたいと考えています。このことを心がけ、1学期にあった「スマホや不要物の持ち込み」や「授業開始時間への遅れ」などといったことが絶対におきないようにしていきましょう。自分の確かな判断力が求められます。

2学期は、9月の2年生「修学旅行」、10月の全学年「合唱コンクール」といった大きな学校行事があります。3年生は受験に向けた大切な準備に入ります。毎時間の授業を充実させ、級友と過ごす学校生活をより落ち着いて過ごすためにも、皆さん一人一人の『正しい判断と行動』を心がけていきましょう。それを身勝手な判断と行動で、皆さんの大切な学校生活を残念なものにしてはいけません。皆さんにとって、少し厳しめのメッセージとなりますが、これらを守ることを一人一人が心がけることで、長与中生 519 人の学校生活を守り、さらなる充実を図ることにつながります。『安心して過ごせる学校、学びの成長ができる学校、友人との絆を深められる学校……』

皆さんの心がけしだいで、長与中学校はどんな場にでもなりえます。そんな学校を、519人の生徒と先生・お世話いただく職員の皆さんと一緒に作り上げていきましょう。

【保護者の皆さん】

先日から第1回学校評価の実施に際し、ご多用な中、回答にご協力いただきありがとうございました。全体で84%の回答をいただきました。12月の第2回目もどうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。今回の結果の詳細につきまして、今後の学校だよりでお知らせいたします。

さて、上記のとおり、生徒たちには自覚ある行動とさらなる成長を期待して、少し厳しめのメッセージを送りました。ただ2学期は、行事を通じた多くの成長と活躍が期待される反面、4月当初の入学・進級の緊張感も薄まり、気持ちが緩みがちになる生徒もいます。本校職員一同、夏休み明けの生徒たちとの久々の再会を喜ぶ一方で、緊張感をもって、2学期を迎えたところです。1年間で最も長い2学期ですが、お子さんが安心・安全の学校生活を送ることができるよう、本校職員一丸となった支援・指導に努めてまいります。ご理解とご協力のほどお願いいたします。ご家庭におきましても、お子さんの様子をご覧いただき、お気づきの点がありましたら、いつでも学校にご相談ください。

最後に、1学期後半、保健室を来室する生徒の中に「睡眠不足による体調不良」、「朝食の欠食」が見受けられました。暑い日がまだまだ続きます。健康に一日過ごせるよう、引き続きのご家庭での日々の見守りとお声かけをお願いいたします。

お世話になりました。

1学期末をもちまして、2名の職員が本校を退職しました。本校生徒へのきめ細かな個別の支援や、英語力向上に向け、尽力してくれました。本当にお世話になりました。

□ ALT スティーブン先生（本校在籍5年間）

□ 市瀬沙衣子 特別支援教育支援員（本校在籍3年間）

新しく着任しました。

2学期から、新たな職員が着任したのでお知らせします。出身はアメリカで、大学を卒業したばかりです。本校には週3回（月・水・木）勤務します。本校のほかにも長与小にも勤務します。

□ ALT ディラン 先生

社会を明るくする運動

長崎地区弁論大会

7月24日に、ベネックス長崎ブリックホールで開催された「第75回社会を明るくする運動長崎地区中学・高校弁論大会」において、「言葉は薬にもなれば、武器にもなる」というテーマで、平さんが発表しました。

友との言い合いや励ましの言葉に救われた経験から、言葉の力を実感。言葉には人を救う力もあれば、深く傷つける力もある。

だからこそ、相手を思いやり、優しさを込めて言葉を選ぶことが大切と、思いのこもった発表をしました。

